

荷主に対する ガイドライン周知状況等実態調査

荷主に対するガイドライン周知状況等実態調査

○概要

主に「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」、「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」及び「IMO/ILO/UNECE貨物輸送ユニットの収納のための行動規範」の周知状況及び活用状況について、平成30年2月26日～3月9日にかけて荷主企業へ調査を実施

○対象

業界団体に所属する荷主企業

○調査内容

- ・「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」、「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」及び「IMO/ILO/UNECE貨物輸送ユニットの収納のための行動規範」の周知状況
- ・輸出・輸入コンテナの情報伝達状況
- ・ガイドライン、マニュアル及び行動規範に則った固縛・積付け状況
- ・フレキシタンクを用いた輸送における事故実態

【調査結果】

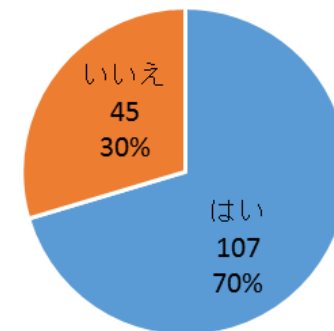
回答企業数：152社

国際海上コンテナによる輸出・輸入を行っている企業数：107社

国際海上コンテナによる輸出・輸入を行っているか
n=152

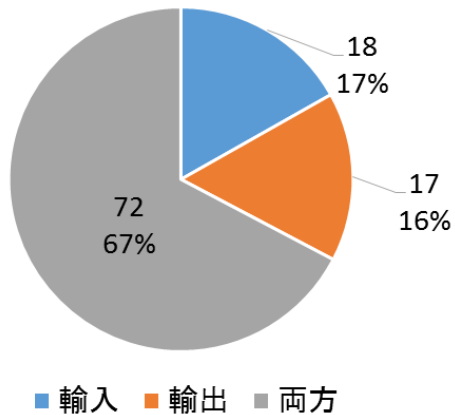
【主な所属団体】

一般社団法人日本経済団体連合会	33社
一般社団法人日本ゴム工業会	8社
日本貿易会	8社
石油化学工業協会	7社

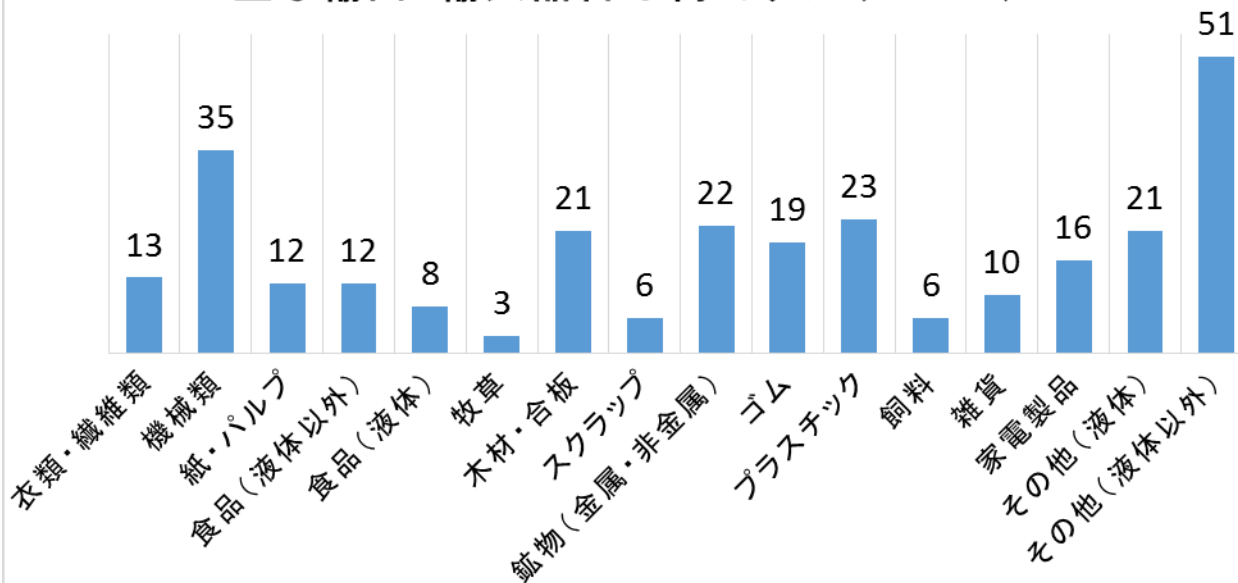


荷主に対するガイドライン周知状況等実態調査

輸出と輸入どちらをおこなっていますか。



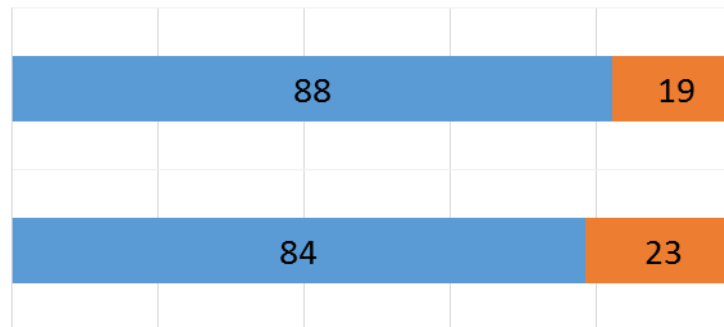
主な輸出・輸入品目は何ですか (N=107) (複数回答)



コンテナトレーラー安全運転の取り組み状況(n=107)

コンテナトレーラーの危険性を理解し、低い速度で運行することを前提に、時間に余裕を持った運送依頼を行うこと。

到着予定が遅れる場合であっても、決して急かさず、安全運転を行うようトラック事業者に指示を行うこと。

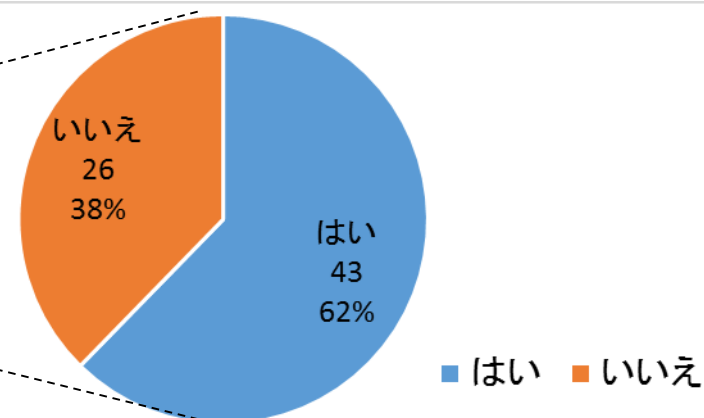
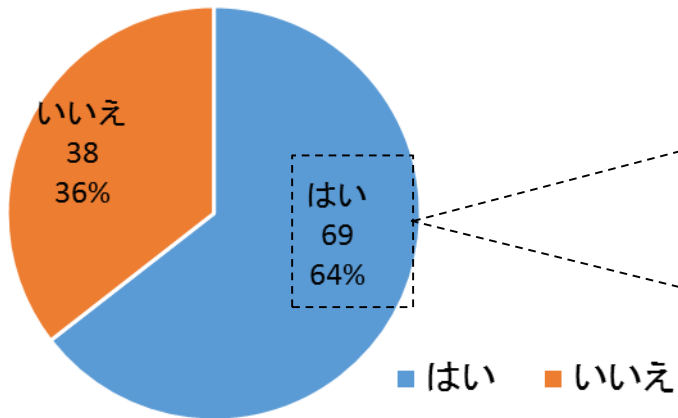


■ している ■ していない

荷主に対するガイドライン周知状況等実態調査

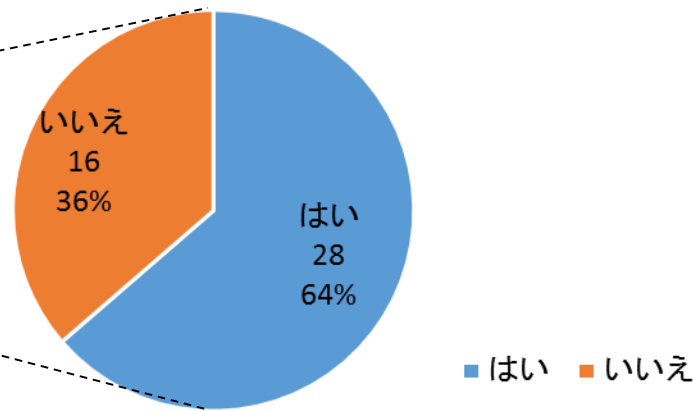
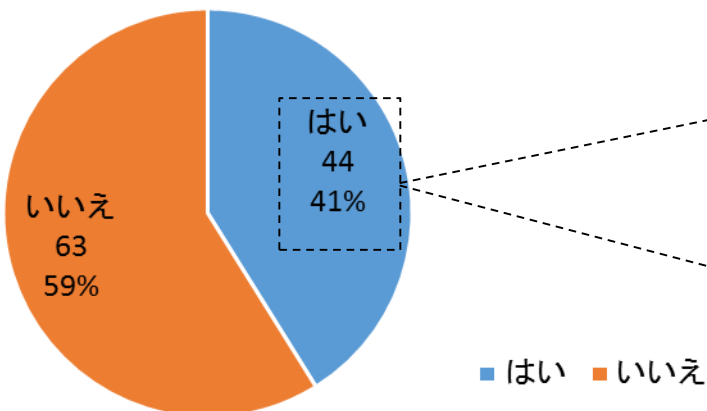
国土交通省で策定している、「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」及び「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」(以下、「ガイドライン及びマニュアル」)を知っていますか。

ガイドライン及びマニュアルを知っている場合、従業員に周知していますか。



コンテナへの貨物の積付等に関する国際行動規範である、「IMO/ILO/UNECE 貨物輸送ユニットの収納のための行動規範」(以下、「行動規範」)を知っていますか。

行動規範を知っている場合、従業員に周知していますか。

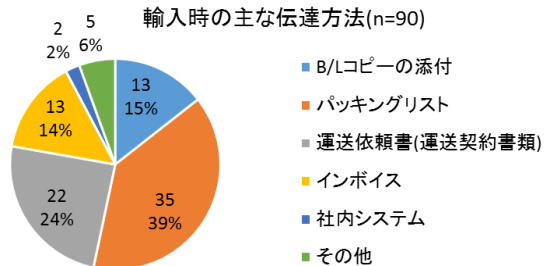
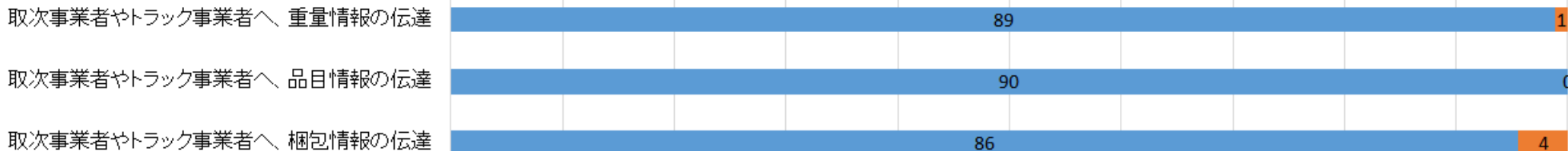


荷主に対するガイドライン周知状況等実態調査

輸入時のコンテナの情報伝達等に関し、受荷主として行っている対応

輸入時のコンテナの情報伝達等の対応状況(n=90)

■している ■していない



・ほとんどの事業者が重量、品目、梱包情報を伝達していると回答があった
 ・取次事業者やトラック事業者へ、梱包情報の伝達を行っていない理由としては、「ほとんど梱包しないで輸送可能な製品である」、「輸入書類に記載がない」との回答があった。



「業務委託先の希望がないため伝達していない」との回答があった。

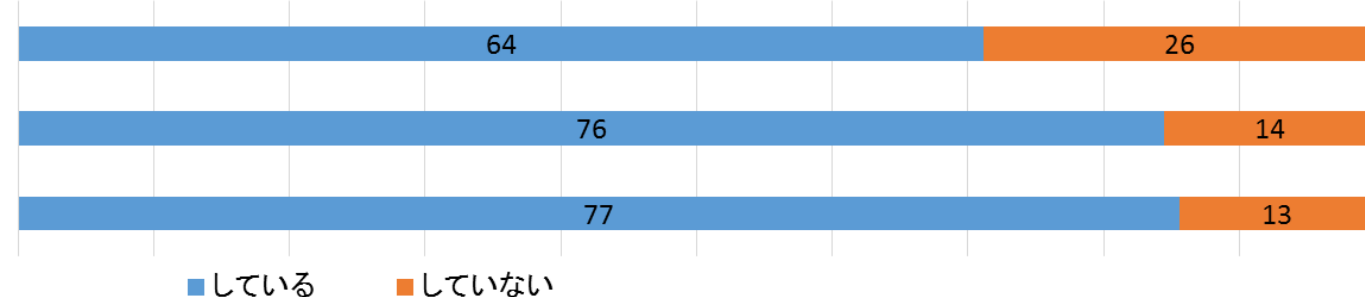


「事案発生時に注意喚起している」との回答があった。

荷主に対するガイドライン周知状況等実態調査

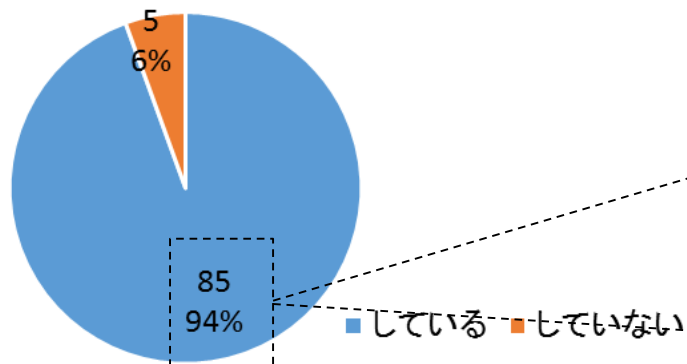
不適切輸入コンテナ処置に関する取り組み(n=90)

- 入港前までに、書面にて不適切状態のおそれがあるコンテナ(重量超過や偏荷重等)の事前確認
- 不適切コンテナが発見された際の関係機関との開封・是正のための連絡調整体制の確立
- 不適切コンテナが発見された際の関係機関との開封・是正のための対応の実施



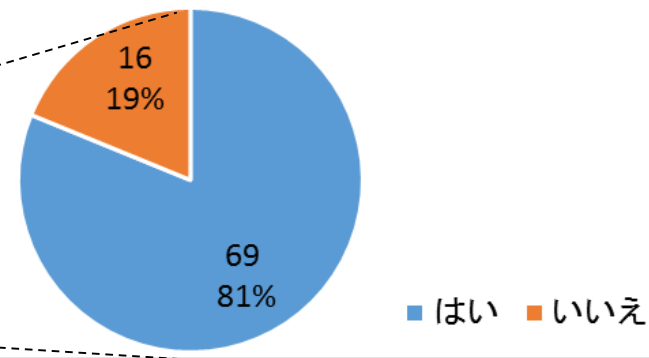
受荷主として、発荷主に対して積荷の特性や梱包等に留意した適切な積付・固縛を依頼をしていますか。

適切な積付・固縛の依頼状況(n=90)



受荷主として、発荷主に対して積荷の特性や梱包等に留意した適切な積付・固縛を依頼している場合、特に、行動規範に則った積付・固縛を依頼していますか。

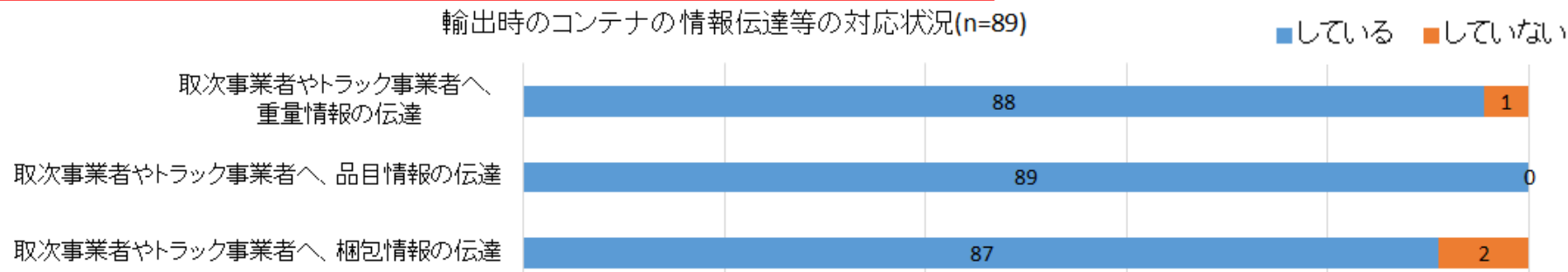
行動規範に則った積付・固縛の依頼状況(n=85)



荷主に対するガイドライン周知状況等実態調査

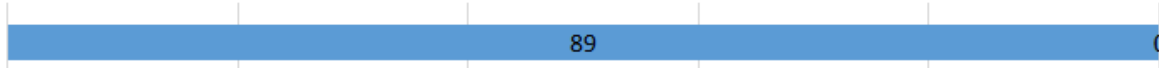
輸出時のコンテナの情報伝達等に関し、発荷主として行っている対応

輸出時のコンテナの情報伝達等の対応状況(n=89)

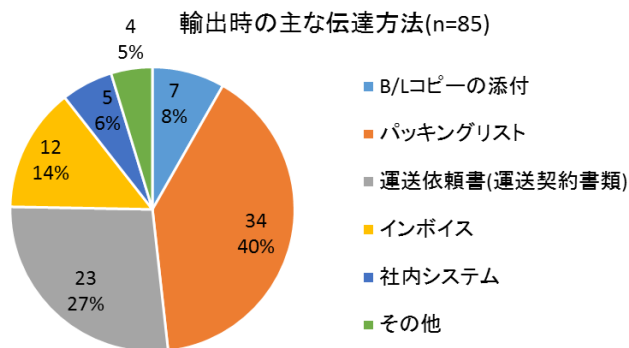


取次事業者やトラック事業者へ、梱包情報の伝達を行っていない理由としては、「梱包事業者を利用しているため仕様が不明」との回答があった。

取次事業者やトラック事業者へ、
運送中に不具合が生じた場合の連絡先の伝達

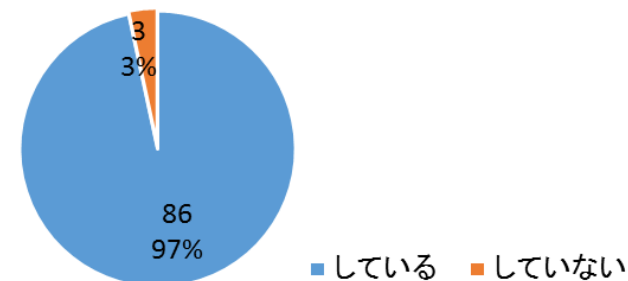


輸出時の主な伝達方法(n=85)



発荷主として、積荷の特性や梱包等に留意した適切な積付・固縛を実施をしていますか。

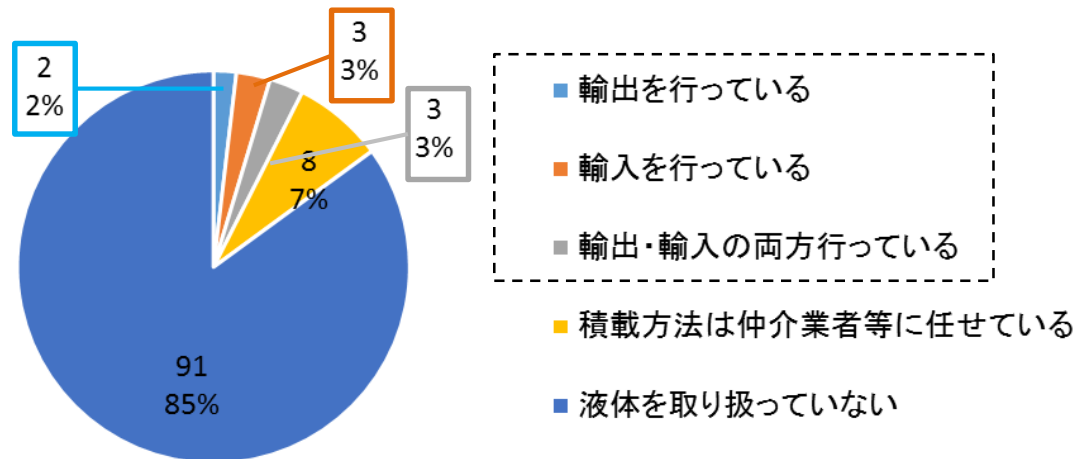
適切な積付・固縛状況(n=89)



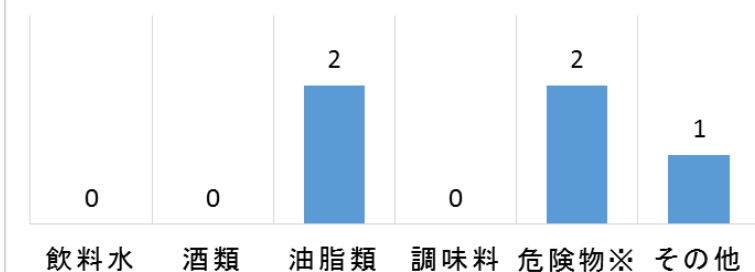
フレキシタンクを用いた輸送について

フレキシタンクを用いた輸送を行う理由としては「タンクコンテナより輸送コストが安価なため」(6者)、「取引先の希望があったため」(5者)という回答があった

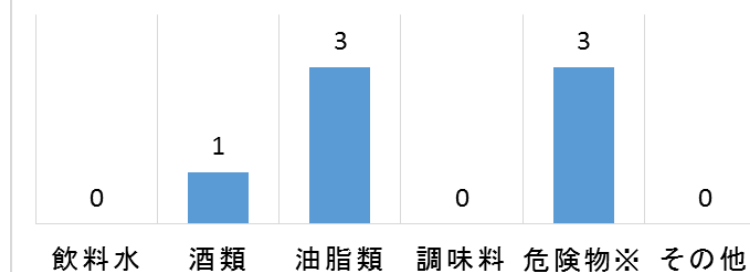
フレキシタンクを用いた輸出・輸入状況(n=107)



フレキシタンクの主な輸出液体物



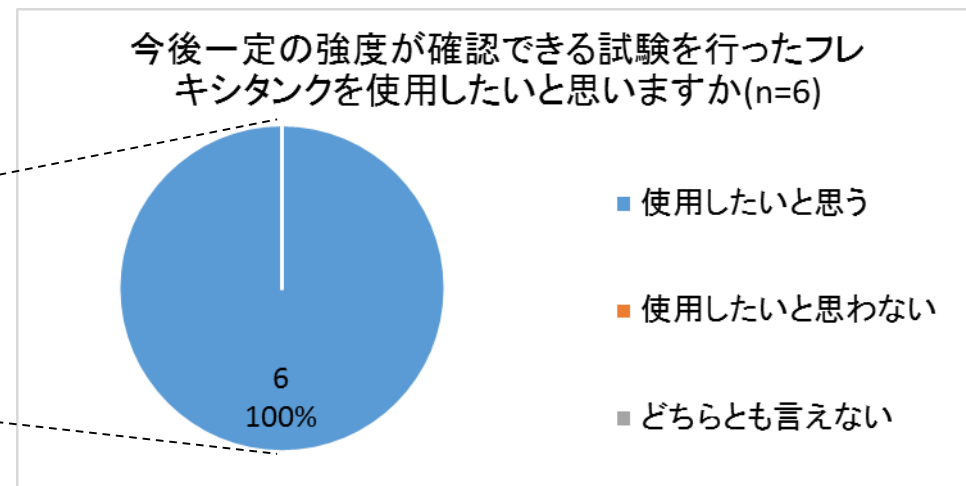
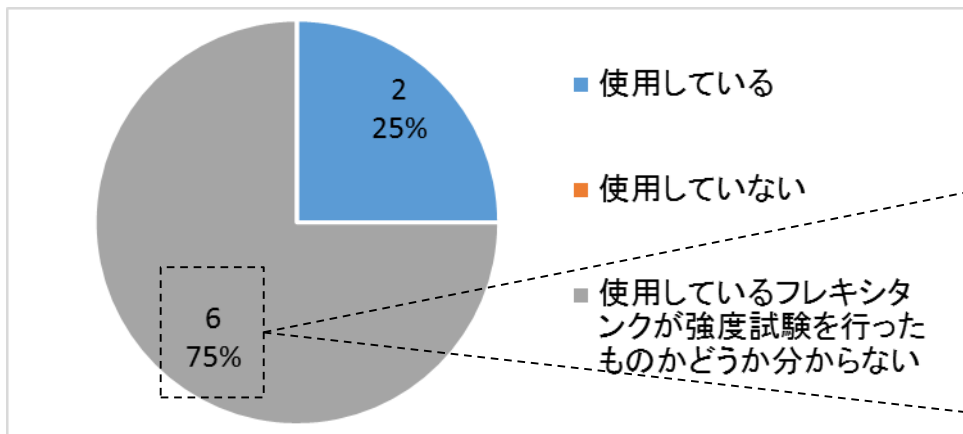
フレキシタンクの主な輸入液体物



※ 危険物の規制に関する規則で輸送可能とされている第3、4石油類、動植物油

荷主に対するガイドライン周知状況等実態調査

一定の強度が確認できる試験を行ったフレキシタンク(「Container owners association」の基準に基づき鉄道衝撃試験を行ったもの、「Lloyd's resister」等での鉄道衝撃試験等を行ったもの)を使用していますか。



平成26年以降のフレキシタンクの漏洩実態

⇒ 3社より漏洩事案(4件)があったと回答があった

【事案1】

積載物: 合成ラテックス

輸出・輸入の別: 輸出

把握した段階: バンニング、デバン時

【事案2】

積載物: 菜種原油

輸出・輸入の別: 輸入

把握した段階: コンテナヤード

【事案3】

積載物: アマニ原油

輸出・輸入の別: 輸入

把握した段階: 輸送会社のVan Pool

【事案4】

積載物: グリセリン

輸出・輸入の別: 輸入

把握した段階: ヤード搬入時